

お知らせ

平成26年10月30日

同時資料提供先

広島県政記者クラブ  
合同庁舎記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ  
岩国市政記者クラブ  
岩国市日刊記者クラブ

## 「小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】」 に関する説明会の開催と意見募集について ～地域の皆さまの声をお寄せください～

国土交通省中国地方整備局では、小瀬川の国管理区間を対象として、今後概ね30年間に行う河川の整備目標や具体的な実施内容を示した「小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】」（以下、原案という）を作成しました。

この度、河川法第16条2項に基づき地域の皆さまのご意見を反映するため、下記のとおり説明会（小瀬川のこれからを考える会）を開催しますのでお知らせします。

記

- 原案閲覧・意見募集期間：平成26年10月31日（金）から平成26年12月1日（月）まで
- 原案閲覧場所：①国土交通省太田川河川事務所 他関係公共機関（別紙参照）  
②太田川河川事務所ホームページ  
（アドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/>）
- 意見募集内容：小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】に関すること
- 意見募集方法：①閲覧場所にアンケート用紙常設  
②アンケート用紙の新聞折込配布（11月3日朝刊に折込予定）  
③ファックス（082-222-2432）  
④電子メール（[oitagawa@cgr.mlit.go.jp](mailto:oitagawa@cgr.mlit.go.jp)）
- 原案説明会：広島県大竹市、山口県和木町の2箇所で開催  
（小瀬川のこれからを考える会）を実施  
場所、日時については、別紙「おぜがわ通信（第7号）」参照

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所  
副所長 湯浅 丈司（ゆあさ じょうじ）  
調査設計第一課長 大賀 祥一（おおが よしかず）  
住所 広島市中区八丁堀3番20号  
電話 082-222-9245（調査設計第一課）  
太田川河川事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/>

# (別紙) 原案の閲覧、意見募集、説明会について

## 1. 原案閲覧について

閲覧期間:平成26年10月31日(金)から 平成26年12月1日(月)まで

### 1)国土交通省・関係公共機関での閲覧

右記一覧の場所において閲覧いただけます。  
閲覧の申し込みは不要です。

なお、閉庁日・閉庁時間は閲覧できません。

閲覧場所一覧

国土交通省	太田川河川事務所 4階閲覧場 小瀬川出張所 弥栄ダム管理所
広島県 山口県	広島県土木局河川課 山口県土木建築部河川課
(広島県) 大竹市 (山口県) 岩国市 和木町	大竹市役所建設部土木課 岩国市役所都市建設部河川課 岩国市役所小瀬出張所 和木町都市建設課

### 2)ホームページからダウンロード

太田川河川事務所ホームページ  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>

### 3)説明会会場

原案の説明会時、会場において閲覧いただけます。

## 2. 意見募集について

意見募集期間:平成26年10月31日(金)～平成26年12月1日(月)まで

**(12月1日必着。ただしアンケートハガキは当日消印有効)**

意見募集内容:小瀬川水系河川整備計画(原案)【国管理区間】に関すること

意見募集方法:

### 1)アンケートハガキ

原案閲覧場所、説明会会場、新聞折込にて配布します。

(新聞折込は11月3日(月)朝刊を予定しています。)

### 2)ファックス

太田川河川事務所 調査設計第一課 宛  
FAX 082-222-2432

### 3)電子メール

太田川河川事務所問合せフォーム

[ootagawa@cgr.mlit.go.jp](mailto:ootagawa@cgr.mlit.go.jp)

注意事項:1)いただいたご意見は、小瀬川水系河川整備計画(国管理区間)策定のために活用させていただきます。なお、個人情報、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」その他関連法令等を遵守して保護します。

2)いただいたご意見やご住所(市町村名)をホームページや「小瀬川のこれからを考える会」で公表する場合があります。

### 3. 説明会について

原案の説明会を広島県大竹市、山口県和木町の2箇所で開催します。

場所、日時は別添「おぜがわ通信(第7号)」を参照下さい。

なお、参加申し込みは不要です。

### 4. 問合せ先

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所  
調査設計第一課 宛

〒730-0013 広島市中区八丁堀3番20号

TEL 082-221-2346(代表)

082-222-9245(調査設計第一課直通)

FAX 082-222-2432

E-mail [ootagawa@cgr.mlit.go.jp](mailto:ootagawa@cgr.mlit.go.jp)



# 小瀬川水系 河川整備計画

## 小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】 についてのご意見を募集します！！

概要版

国土交通省中国地方整備局では、小瀬川水系のこれからの河川整備の内容を定めた「小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】」をまとめました。

### 流域の概要



小瀬川は廿日市市飯山に源を発し、途中、玖島川を合わせて南下後、山口県和木町・広島県大竹市にまたがる工業地帯を経て、瀬戸内海に注いでいます。

#### 流域面積（集水面積）

340 km<sup>2</sup> 全国101位 (中国地方13位) ※一級河川のみ対象

#### 幹川流路延長

59 km 全国85位 (中国地方10位) ※一級河川のみ対象

#### 流域内人口

24千人 ※H17年度末

#### 想定はん濫区域内人口

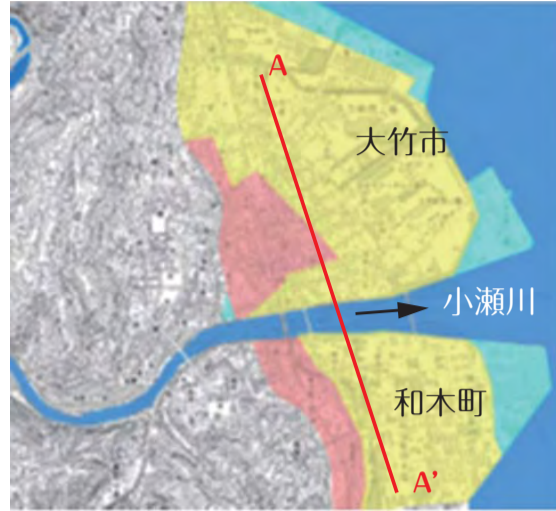
23千人 ※H17年度末

#### 流域内市町

3市1町 (広島県廿日市市・大竹市、山口県岩国市・和木町)

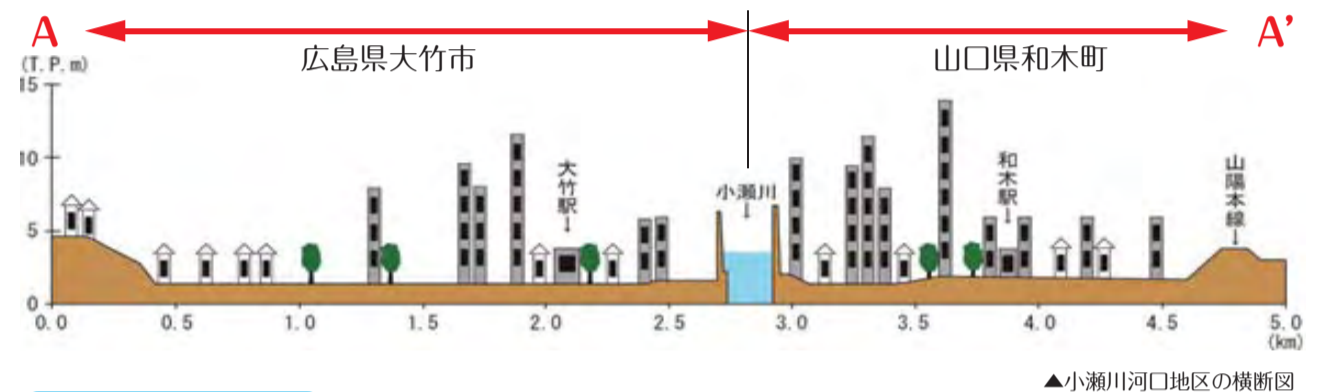
### 小瀬川ってどんな川？

#### 洪水・津波・高潮等に弱い地形特性



小瀬川の河口地区に広がる平野は、江戸時代後期以降に干拓・埋立された区域が多くを占め、瀬戸内工業地域の一部を形成し、人口・資産が集積しています。河口地区の地盤高は洪水時の河川水位より低く、洪水や高潮により堤防が決壊すると、甚大な被害が発生するおそれがあります。また、堤防の耐震性が十分でない区間は、地盤の液状化による堤防崩壊及び津波による浸水の発生が生じる可能性があります。

【凡例】 赤色 享和元年（1801年）以前に干拓により新たにつくられた土地  
黄色 享和元年（1801年）以後に干拓により新たにつくられた土地  
緑色 明治時代中期（1900年ごろ）以後に埋め立てにより新たに作られた土地



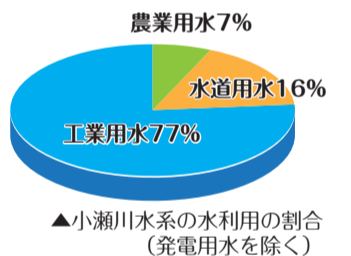
#### これまでの水害

昭和20年、昭和26年等の台風により多大な被害を受けています。近年では、平成17年の台風により戦後最大流量を記録する洪水が発生し、弥栄ダム上流域において、河岸浸食や道路崩壊等の被害が発生しています。

昭和26年10月洪水	平成17年9月洪水
昭和26年ルース台風時の大竹町（当時）の浸水状況 両国橋地点流量 約2,100m <sup>3</sup> /s 家屋流失・全壊 450戸 田畑流失 596町歩 死者・行方不明者 66名	平成17年9月玖島川友和地区の被災状況 両国橋地点流量 約2,800m <sup>3</sup> /s 全壊・流失家屋 12戸 田畑流失 59ha

#### 水利用の特徴

小瀬川水系の水利用は、工業用水・水道用水として、広島県西部や山口県東南部の周防大島などの流域外にも広く供給されています。水利用の割合は、発電を除くと工業用水が約77%（日量約499,700m<sup>3</sup>）、水道用水が約16%（日量約108,400m<sup>3</sup>）、農業用水が約7%（日量最大約43,400m<sup>3</sup>）を占めています。



#### 多様性に富んだ自然環境

小瀬川の国管理区間には、干潟・瀬・淵、中洲、ワンドや水際植生など、多様性に富んだ自然環境が各所に分布し、多様な動植物の生息・生育・繁殖空間となっています。



### 小瀬川のこれからの考える会【公開】

小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】について、地域住民のみなさんに「原案」の内容説明とみなさんの意見を反映させるために「小瀬川のこれからの考える会」を開催いたします。

和木会場			
和木町文化会館	1階 講習室	11月15日(土)	10:00～12:00
玖珂郡和木町和木2-1-1 【TEL】0827-53-3123			
大竹会場			
大竹会館	2階 中集会室	11月15日(土)	16:00～18:00
大竹市本町1丁目9-3 【TEL】0827-53-2271			

### 意見募集方法について

小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】について、多くの皆様からのご意見を募集いたします。

※このお知らせは、小瀬川水系（国管理区間）の想定はん濫区域内にお住まいの方々を中心に配布しています。

#### ご意見募集要項

##### 意見募集期間

平成26年 10/31(金)～12/1(月)

※12/1(月)必着ただし、アンケートハガキは当日消印有効

##### 意見送付方法

ご意見は、付属のハガキにご記入の上、送付してください。また、ハガキ以外にもFAX、電子メールによるご意見も受け付けています。

郵送	〒730-0013 広島市中区八丁堀3番20号 国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 調査設計第一課 宛
FAX	FAX 082-222-2432 国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 調査設計第一課 宛

太田川河川事務所ホームページ専用フォーム  
<https://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/ozegawaseibi/iken.html>

【注意事項】 1. いただいたご意見は、小瀬川水系河川整備計画【国管理区間】策定のために活用させていただきます。なお、個人情報等は事務局で適切に管理します。  
2. いただいたご意見、ご住所（市町村名）をホームページや小瀬川のこれからの考える等で公表する場合があります。

### 小瀬川水系河川整備計画（原案） 【国管理区間】の閲覧について

資料閲覧場所  
平成26年10/31(金)～12/1(月)まで閲覧できます。

太田川河川事務所	〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀3番20号	082-222-9245
小瀬川出張所	〒741-0091 山口県岩国市小瀬字沖原282-6	0827-52-2245
弥栄ダム管理所	〒739-0627 広島県大竹市小方町小方813-1	0827-57-3135
広島県庁	〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52	082-228-2111
山口県庁	〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号	083-922-3111
大竹市	〒739-0692 広島県大竹市小方1丁目11番1号	0827-59-2111
岩国市	〒740-8585 山口県岩国市今津町1丁目14-51	0827-29-5000
和木町	〒740-8501 山口県玖珂郡和木町和木1丁目1番1号	0827-52-2135

#### ホームページ

会議等の開催日程や会議資料等を公開します。  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/>



### ご意見募集ハガキ ご意見の記入は裏面です

料金受取人払郵便

広島中央郵便局  
承認  
4500

差出有効期間  
平成27年2月27日  
まで（切手不要）

730-8790  
908

国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所  
調査設計第一課 宛  
広島県広島市中区八丁堀3番20号



# 治水の現状

## ▶▶▶ 近年においても洪水による浸水被害が発生



- ◆河口地区の高潮堤防の整備区間では、堤防の高さや断面が不足する区間が存在します。
- ◆ダム下流地区は、標準的な堤防の断面に対して、高さや断面が不足する暫定堤防区間が多くなっています。
- ◆両国橋地点は狭窄部であり、流下能力が不足しています。
- ◆津波浸水想定図では、河口地区は1mを超える浸水域であり、堤防や樋門等の河川構造物の耐震化等を行う必要があります。

▲両国橋地点の狭窄部

# 河川環境の現状

## ▶▶▶ 多様性に富んだ自然環境、活発な河川利用



▲河川管理用通路の整備 ▲ダム湖でのカヌー教室 ▲地域伝統行事「ひな流し」

- ◆小瀬川は多様な動植物が生息・生育・繁殖する豊かな自然環境と水辺景観、良好な水質、地域の人々との水と緑の触れ合いの場があります。
- ◆河口地区は河川管理用通路「水辺の回廊」が整備され、市民に憩いの場を提供しています。
- ◆中市堰から弥栄ダム下流までの区間は親水空間の整備により散策、自然観察、伝統行事のひな流しなどに利用されています。
- ◆弥栄ダムは公園、キャンプ場、教育施設等が整備され、釣り、水遊び、カヌーや体験学習等をはじめ活発に利用されています。

# 小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】の基本理念・目標・実施内容

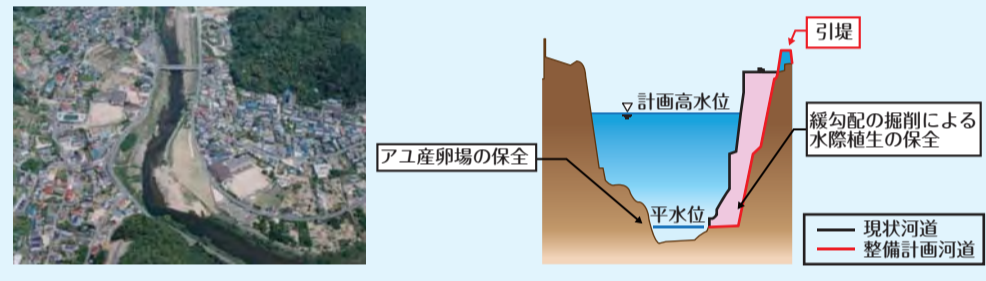
## 治水

### 安全・安心な暮らしを確保する

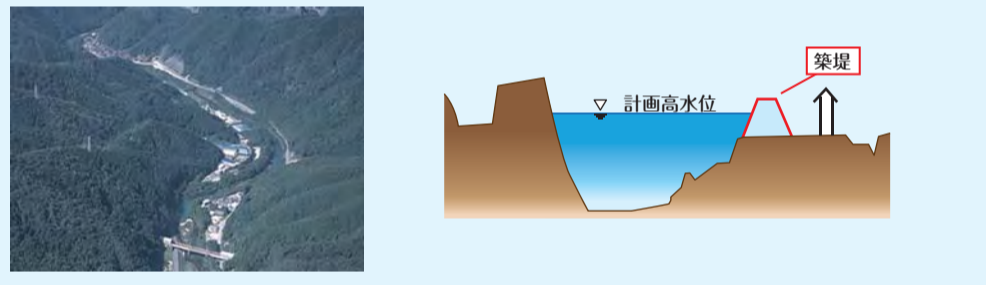
#### 目標

- 小瀬川の戦後最大洪水である平成17年9月洪水と同規模の洪水に対して、洪水氾濫による家屋等の浸水被害の防止を図ることが可能となります。
- 高潮対策は計画高潮位の高潮が河川外に流出することを防止し、海岸における防御と一体となって浸水被害の防止を図ります。
- 津波対策は計画津波が河川外に流出することを防止することとし、海岸における防御と一体となって浸水被害の防止を図ります。
- 地震対策は大規模な地震動が発生した場合においても、河川管理施設として必要な機能の確保を図ります。

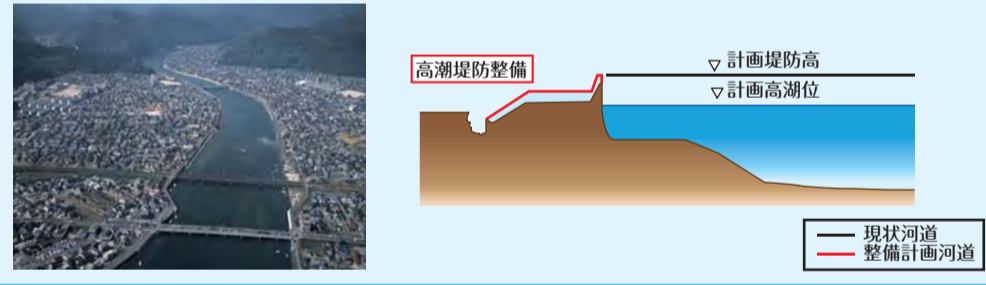
### 引堤・橋梁改築



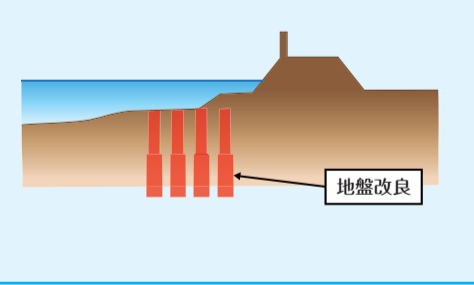
### 築堤



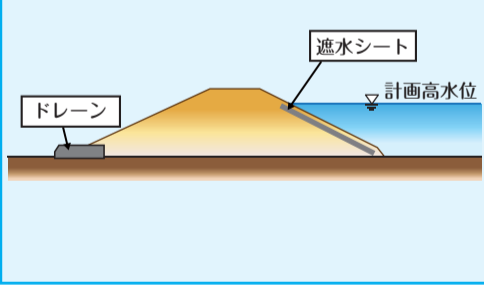
### 高潮堤防整備



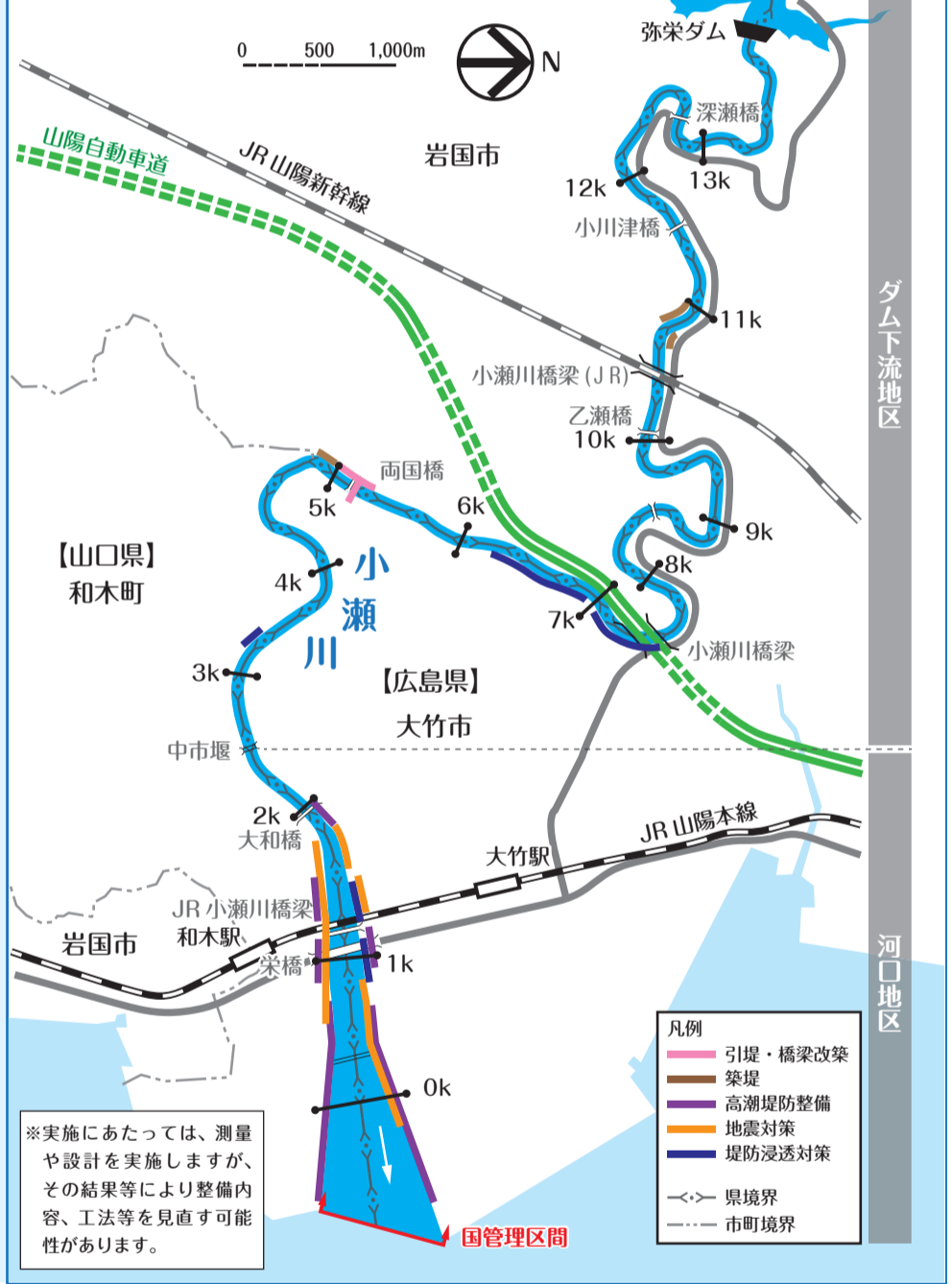
### 耐震対策



### 堤防浸透対策



### 治水に関する整備内容



# 水利用の現状

## ▶▶▶ 広域な社会の営みを支える

- ◆小瀬川の弥栄ダムから下流で取水される流水は、発電を除くと工業用水が7件（約6m³/s）と最も多く利用されています。
- ◆小瀬川水系の水利用は、工業用水が中心であり、年間を通じて取水量がほぼ一定です。このため、降水量の少ない冬季に渇水の発生のおそれが高くなります。弥栄ダム完成以前（平成3年3月完成）は約3年に1回の割合で渇水による取水制限を実施していましたが、弥栄ダム完成後は全国的に渇水が生じた平成6年など3回に留まっています。
- ◆弥栄ダムは下流で取水されている水道用水、農業用水、工業用水等の安定的な水量の確保に努めています。



▲弥栄ダム

# 維持管理の現状

## ▶▶▶ 河道および河川管理施設等の状況把握、効果的・効率的な維持管理

- ◆河川巡視、河川管理施設の点検、河道断面等の測量、雨量・水位・水質の観測等により、河道や河川管理施設等の状況を把握し、計画的・効果的かつ効率的な維持管理を実施しています。
- ◆大雨時や少雨時等に弥栄ダムの治水・利水機能が発揮されるように、ダム放流設備や電気・通信設備等の適正な管理・運用を行っています。
- ◆中市堰の利水機能、塩害防止機能が発揮されるように、ゲートや電気・通信設備等の適正な管理・運用を行っています。



▲堤防点検の実施状況



▲堤防天端の補修状況（元町地区）

ご意見募集ハガキ  
下のハガキにご意見をご記入ください

Form for submitting comments, including fields for name, age, gender, address, and a classification section for治水, 利水, 環境, 維持管理, 整備計画全般.

## 利水

地域の豊かな社会の営みを支える

#### 目標

- 水道用水、農業用水、工業用水等の利水の現状、動植物の保護、漁業、景観及び流水の清潔の保持を考慮した流水の正常な機能を維持するために必要な流量の確保に努めます。

## 河川環境

豊かな自然を保全し、水と緑のふれあいを継承する

#### 目標

- 環境自然：動植物の生育・生息・繁殖環境を確保できるよう現状の良好な自然環境の保全・再生に努めるとともに、水際の連続性や魚類の移動の連続性（遡上・降下環境）の確保に努めます。
- 河川利用・景観・水質：河川利用の現状を踏まえ、幅広い分野における安全・快適な利用の推進により人と河川との関係の再構築に努めます。
- 小瀬川と流域の人々との歴史的・文化的つながりを踏まえ、人々にうるおいとやすらぎを感じさせる豊かな自然と緑が織りなす、良好な河川景観の維持・形成に努めます。
- 現状の良好な水質の保持に努めます。

## 維持管理

#### 目標

- 河川管理の目標、目的、重点箇所、実施内容等の具体的な事項を定めた「河川維持管理計画」を基に、計画的な維持管理を継続的に行います。
- 「河川維持管理計画」の運用に当たっては、小瀬川の状況を把握し、維持管理対策を行い、得られた知見の分析・評価を反映する「サイクル型維持管理」体系を構築し、適宜見直しを行います。

【お問い合わせ先】 国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 調査設計第一課  
〒730-0013 広島市中区八丁堀3番20号 TEL 082-222-9245 FAX 082-222-2432  
http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/

ご協力ありがとうございました。